



独立行政法人理化学研究所 仁科加速器研究センター

第37回RIBF核物理セミナー

RIKEN Nishina Center for Accelerator Based Science

The 37th RIBF Nuclear Physics Seminar

「核密度近傍の核物質のいろいろな相とパスタ原子核
～ 不安定核の質量と半径との関係～」

親松 和浩 氏 (愛知淑徳大学 現代社会学部)

日常世界の密度と温度では電子が結合の主演となって様々な物質構造が実現するが、核密度より低い密度の中性子星物質や超新星物質では核子が主演となって様々な物質構造が実現する。特に、核密度近傍ではスパゲッティ(棒状)やラザニア(板型)に似た面白い形の原子核(パスタ原子核)が存在する可能性がある。さらに、パスタ原子核の存在可能性が核物質の状態方程式に依存していて、実は不安定核の質量や半径の大局的振る舞いと関係していることも議論したい。

Oct , 31(Tue), 2006 13:30-
RIBF Conf. Hall, RIBF Bldg. 2F

The seminar will be given in Japanese.

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer

seminar@ribf.riken.jp

<http://ribf.riken.jp/~seminar>